

## 第19回(平成10年度)薬学研究奨励財団研究助成金, 海外派遣・招聘補助金受領者

### I 研究助成金 (1件100万円, 12件, 総額1,200万円)

「オキシドスクアレン閉環酵素に関する生物有機化学的研究」

(静岡県立大・薬・講師) 阿部 郁 朗

「環状オリゴ糖の分子識別能を利用した動脈硬化性リポ蛋白の迅速分析法の開発」

(熊大・大学院・薬学研究科・教授) 入江 徹 美

「古典的立体効果によらない $\pi$ 面選択における軌道電子立体効果の一般則」

(名古屋市立大・薬・教授) 大和田 智 彦

「哺乳動物のフェロモン受容機構」

(北大・大学院・薬学研究科・助教授) 柏 柳 誠

「脂質-低原子価有機遷移金属複合体を含有する脂質二重膜の形成および機能解明」

(徳島文理大・薬・助教授) 杉原 多公通

「全身および局所投与されたプラスミドDNAの細胞取り込み機構に関する研究」

(京大・大学院・薬学研究科・教授) 高倉 喜 信

「連続的電子移動反応を利用する重要生理活性化合物の効率合成」

(東北大・大学院・薬学研究科・助教授) 豊田 真 弘

「抗癌剤による細胞死の分子機構」

(東大・分子細胞生物学研・助教授) 内藤 幹 彦

「中枢神経系におけるプロスタグランジンの新規機能の探索」

(京大・大学院・薬学研究科・教授) 根岸 学

「活性酵素におけるNF- $\kappa$ B活性化のメカニズム」

(東京薬大・薬・講師) 早川 磨紀男

「 $\beta$ -アミロイド蛋白により誘発される学習記憶障害の発現機序」

(名古屋大・医・附属病院・薬剤部・助教授) 山田 清 文

「アンジオモデュリンによる血管新生活性のヘパラン硫酸を介した調節機構の解明」

(神戸薬科大・薬・助手) 山田 修 平

(応募件数 38件)

### II 研究者の海外派遣補助金 (1件40万円以内, 8件, 総額230万円)

(前期)

「第4回癌の予防と治療に関する国際シンポジウム」1998.10.24~27 フランス・ニース

(静岡県立大・薬・講師) 武田 厚 司

「第5回国際異物代謝学会」1998.10.25~29 オーストラリア・ケアンズ

(北大・大学院・薬学研究科・助教授) 有吉 範 高

(応募件数 2件)

(後期)

「天然物研究の2000年—過去, 現在そして未来」1999.7.26~30 オランダ・アムステルダム

(徳島文理大・薬・助手) 長島 史 裕

「2000年代の天然物研究の—過去, 現在, 未来—ASP, AFERP, GA, PSE との合同学会」

1999.7.26~30 オランダ・アムステルダム

(徳島文理大・薬・教授) 福山 愛 保

- 「一酸化窒素の生物学に関する第6回国際会議」1999.9.5～8 スウェーデン・ストックホルム  
(東京薬大・薬・助教授) 本 多 秀 雄
- 「国際レプトスピラ症会議」1999.8.22～25 オーストラリア・ビクトリア州・マイヤーズビル  
(静岡県立大・薬・助教授) 増 澤 俊 幸
- 「第21回有機電気化学サンドビアーグ会議」1999.6.18～21 デンマーク・サンドビアーグ  
(九大・有機化学基礎センター・教授) 松 村 功 啓
- 「第26回生理活性物質の放出制御に関する国際シンポジウム」1999.6.20～25 米国・ボストン  
(北海道医療大・薬・教授) 宮 崎 正 三  
(応募件数 10件)

### Ⅲ 海外からの研究者招聘補助金 (1件40万円以内, 3件, 総額120万円)

- 「マイコトキシン国際シンポジウム'99」1999.9.9～10 千葉  
(米国・食品・薬品局・国立毒性研究センター・化学研究官) パウル C. ハワード
- 「日本薬学会第119年会」1999.3.29～31 徳島  
(米国・カリフォルニア大・化学・生化学・教授) マイケル E. ジヤング
- 「第3回国際受容体・シグナリング・薬物作用シンポジウム」2000.3.25～26 神奈川  
(カナダ・モントリオール大・医・生化学教授) マイケル ブーヴィエ  
(応募件数 3件)